

〔事業概要〕	
事業名：赤木名地区市営住宅集約建替事業	
集約地：奄美市笠利町外金久C団地 所在：奄美市笠利町大字外金久字外金久49番、53番3	
敷地面積：49番 1,490.64㎡、53番3 234.05㎡ 計1,724.69㎡	
建物用途：集合住宅（市営住宅）	
建設予定戸数：16戸	
	タイプⅠ 世帯向け2DK 57.13㎡/戸あたり 延べ面積 57.13㎡×4戸＝228.52㎡ . . . ①
	タイプⅡ 世帯向け1DK 47.20㎡/戸あたり 延べ面積 47.20㎡×4戸＝188.80㎡ . . . ②
	タイプⅢ 高齢単身向け1K 37.26㎡/戸あたり 延べ面積 37.26㎡×4戸＝149.04㎡ . . . ③
	タイプⅣ 世帯向け3LDK 71.22㎡/戸あたり 延べ面積 71.22㎡×4戸＝284.88㎡ . . . ④
合計（①＋②＋③＋④） 851.24㎡（約257坪）	
建物の構造：木造2階建て（仮定）	
用途地域等：都市計画区域 外	
土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域 外	
急傾斜崩壊危険区域 外	
津波浸水想定 1m以上～3m未満	
事業手法：PFI（BT方式）を想定	
発注手法：公募型企画提案による優先交渉権者と随意契約を予定	
（基本・実施設計（既存18戸解体設計含む）、建設工事（既存18戸解体含む）、	
工事監理を一括して行い建物完成後に市に引き渡す。）	
事業上限額：550,000千円（見込み）	
工程計画：令和9年度に事業者と契約	
令和11年度供用開始	

■計画の趣旨
少子高齢化と民間事業者との住み分けに対応した今後の市営住宅の担う平面計画
・これまでのような公営住宅のタイプ、戸当たり面積ではなく単身高齢者や単身者に 対応させたフレキシブルな計画が必要（高齢者の家賃負担の軽減にも繋げる）
・働き世代、子育て世代向けには2DK、3LDKを基本とする。
木造で計画することについて
・周辺環境との調和を図るとともに、民間事業者の創意工夫やデザインの自由度を高めることをねらいとする。
また、小規模住宅を組み合わせることで、多様なニーズに対応できると考える。

